

【研究主題】 学びに向かう力の育成

～主体的な学びを促す授業づくり～



挨拶

立川市教育委員会教育長 小町 邦彦

立川市立立川第二中学校におかれましては、平成 30・31 年度立川市教育委員会研究指定校として、「学びに向かう力の育成～主体的な学びを促す授業づくり～」を研究主題として掲げ、見通しをもたせ、学習を振り返るサイクルを重視して、研究を進めてこられました。

特に、対話的な活動を取り入れた「主体的な学びを促す授業」を展開することで、生徒は授業の内容を習うだけでなく修め、教員は教えるだけでなく考えさせる授業を目指し、対話的で次への意欲を高める取組を追究されてきました。これは、正に新学習指導要領が目指す「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善と言えます。さらにクリティカル・シンキングをベースとした対話的な学習活動の提言もされています。

結びに、立川第二中学校、飯田芳男校長先生はじめ教職員の皆様、日頃より様々な教育活動に御理解・御協力いただいております保護者・地域の皆様方に改めて感謝申し上げます。本研究により、立川第二中学校の教育活動がますます発展いたしますことを祈念し、挨拶といたします。

はじめに

立川市立立川第二中学校長 飯田 芳男

本校では、平成 30・31 年度立川市教育委員会研究指定校として、「学びに向かう力の育成～主体的な学びを促す授業づくり～」を研究主題として掲げ、見通しをもたせ、学習を振り返るサイクルを重視した授業づくりについて、研究を進めてきました。

今年度は特に教科ごとに授業研究を行いました。その中で、見通しを持たせる手立てと振り返りシートの活用を指導案に組み入れることを原則としてきました。そして、主体的・対話的で深い学びの視点から課題の解消に努めながら成果を追求してきました。また、3年生については外部講師によるクリティカル・シンキング講座を開講し、自分自身を高いところから見つめ直し、メタ認知力を高める学び方が修得できるようにしました。さらに、根拠に基づいて自分の考えを発表する体験を重ね、物事への批判的主張の方法を体得させてきました。本日は、本校の授業の基本スタイルをご覧いただければ幸いです。見通しと振り返りのサイクルを重視した授業のながれの中、クリティカル・シンキングを土台とした個人の学習活動や、伝え合い、支え合い、学び合う学習活動が展開されているか、ご指導賜われれば幸いです。

最後になりましたが、昨年度までご助言いただきました日本女子体育大学准教授瀬尾美紀子先生はじめ、研究を支えてくださった多くの関係者の方々に深く感謝申し上げます。

